

伊藤 謙一 議員

スーパー公務員育成

問 今後本市の求める職員像は。

答 人口減少社会、財政運営の確立、ICTの進展などの社会変化に対応し、いかに活力ある地域をつくり、市民に貢献できるか。重ねて、課題解決のために政策を立案し、実行し、成果を出す職員が求められると考える。さらに、今後の業務の推進にあたり、チーム全体で取り組むこととあわせ、個人が持っている能力をより活かしていくことが必要であり、求められたいと考えている。

問 長野県塩尻市 地方創生協働リーダーシッププログラム「ミチカラ」を参考にした職員研修が本市でもできないか。

答 「ミチカラ」は民間企業と職員との交流事例として大変参考となることから、本市でも実施すべきと考えている。

浅田 二郎 議員

都市間交流

問 友好関係の都市と政策上及び市民交流等の明確な交流目的に関する覚書を締結するべきでは。

答 行政課題が多様化している現在において、自治体間や官民での連携がより一層重要なものとなっており、今まで培ってきた友好関係を活かした政策連携も有効な手段であると考えている。



姉妹都市ヒルズボロ市からの訪問

入札制度の改善を

問 昨年度予定価格5000万円以上の入札結果では、落札率99%以上のものが多く、異常ではないか。

答 99%以上の入札は、全て4社以上の競争により公平かつ公正に執り行ったものであり、必ずしも異常な傾向を示しているものとは考えていない。

問 入札予定価格を下回るのが1業者という結果も多く、他の業者とは、かなりの入札額の差がある。業者間の競争性が乏しいのではないか。

答 入札金額の積算については、それぞれの業者が積み上げ、判断されるもので、結果はさまざまである。予定価格を下回る業者が1社となるケースもあるが、明確なルールに基づいて、適正な競争が行われた結果と認識している。

難聴者の支援を

問 難聴が認知症の要因として大きな割合を占めているといわれている。補聴器購入に市としても助成を検討できないか。

答 補聴器購入の給付は、障害者総合支援法に基づいた制度であることから、まずは、身体障害者手帳の申請を案内し、公的な給付を受けられるよう対応していきたい。



障がい者福祉系の窓口